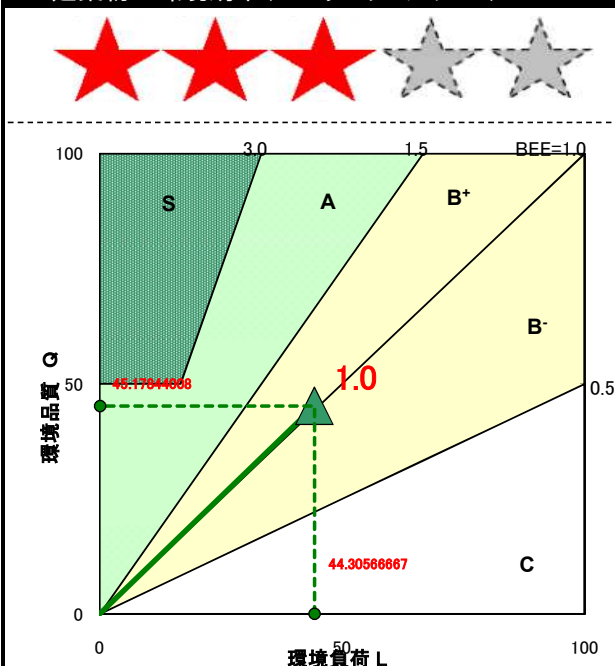


CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要			■ 外観	
建物名称	山口病院新館棟増築工事	階数	地上6F	
建設地	熊本市田崎3丁目603-2 他10筆	構造	RC造	
用途地域	市街化区域、準防火地域	平均居住人員	50 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2011年3月7日	
敷地面積	3,578 m ²	作成者	有限会社廣野設計事務所	
建築面積	1,753 m ²	確認日		
延床面積	2,532 m ²	確認者		

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



BEE = 1.0

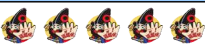
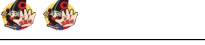
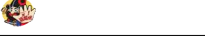
$$\text{BEE (環境効率)} = \frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$$

■ CASBEE 評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	☆☆☆☆☆	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	☆☆☆☆	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B ⁺	☆☆☆	良い	1.0以上1.5未満	—
B ⁻	☆☆	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	☆	劣る	0.5未満	—

2 熊本県重点評価結果

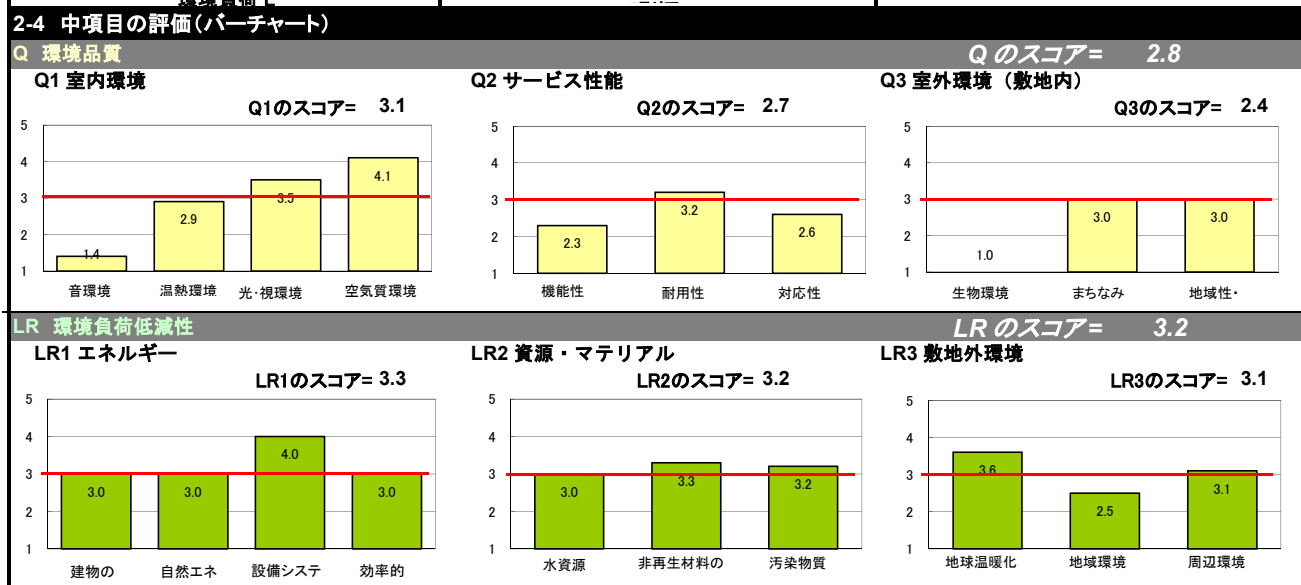
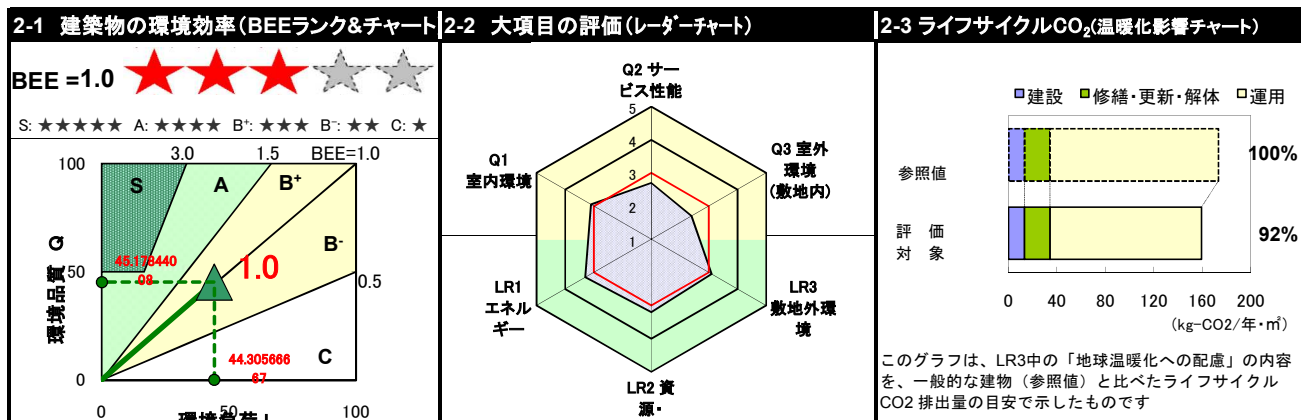
■ 重点事項総合評価

			76
	評価点	■熊本県重点評価基準	
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	83.8	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	63.7	100点以上	
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	67.5	80点以上100点未満	
【重点事項4】 循環型社会の実現	81.6	60点以上80点未満	
		40点以上60点未満	
		40点未満	
※評価点は、100点以上が推奨です。			

CASBEE® 熊本《新築》【評価結果】

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築（簡易版）2008年版 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	山口病院新館棟増築工事	階数	地上6F
建設地	熊本市田崎3丁目603-2 他10筆	構造	RC造
用途地域	市街化区域、準防火地域	平均居住人員	50 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2011年3月7日
敷地面積	3,578 m ²	作成者	有限会社廣野設計事務所
建築面積	1,753 m ²	確認日	
延床面積	2,532 m ²	確認者	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

今回の新館棟増築を行うことで、これまで以上に施設内の充実をはかり、既存建物や周辺環境に調和のとれた建築物となるよう配慮した。

Q1 室内環境

窓システムで片側Low-eガラスの複層ガラスを採用し、室内温度の維持をはかり室内環境の向上に配慮した。建築材料については、建築基準法規制対象外（F☆☆☆☆）となる材料を採用した。

Q2 サービス性能

外壁の仕上げをタイル張とし、設備配管等の材料では比較的耐久性の高いものを使用し、建築物の耐用性の向上に努めた。

Q3 室外環境（敷地内）

既存建物との調和を損なわないよう、外部仕上げや敷地内の外構計画に配慮した。

LR1 エネルギー

設備機器では高効率のものを採用した。また照明器具では、LEDの採用や適正照度制御をおこなうことでエネルギー利用の削減に努めた。

LR2 資源・マテリアル

非構造材料の一部でリサイクル材を使用し、資源の有効活用をおこなった。

LR3 敷地外環境

ライフサイクルCO2の参照値に対し92%の排出に抑え、敷地内の舗装に浸透性アスファルト舗装を採用し、敷地外の環境負荷に配慮した。

その他

0

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
山口病院新館増築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
				評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質								2.8	
Q1 室内環境					0.40			3.1	
1 音環境				1.4	0.15	2.6	1.00	1.4	
1.1 騒音				2.0	0.40	5.0	0.40		
1 暗騒音レベル				2.0	1.00	5.0	1.00		
2 設備騒音対策				-	-	-	-		
1.2 遮音				1.0	0.40	1.0	0.40		
1 開口部遮音性能				1.0	0.40	1.0	0.30		
2 界壁遮音性能				1.0	0.60	1.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	1.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	1.0	0.20		
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境				2.9	0.35	2.6	1.00	2.9	
2.1 室温制御				3.7	0.50	3.0	0.50		
1 室温設定				3.0	0.38	3.0	0.57		
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-		
3 外皮性能				3.0	0.25	3.0	0.43		
4 ゾーン別制御性		個別制御可能な空調設備機器を採用		5.0	0.38	3.0	-		
5 温度・湿度制御				-	-	-	-		
6 個別制御				-	-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-		
8 監視システム				-	-	-	-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境				3.5	0.25	3.9	1.00	3.5	
3.1 昼光利用				4.2	0.30	4.2	0.30		
1 昼光率		(共用)4.1%、(住居)1.6%		5.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口				3.0	-	3.0	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				4.0	0.30	5.0	0.30		
1 照明器具のグレア				-	-	-	-		
2 昼光制御		(共用、住居)庇、ブラインドの設置		4.0	1.00	5.0	1.00		
3.3 照度				2.0	0.15	3.0	0.15		
1 照度				2.0	1.00	3.0	1.00		
2 照度均斉度				-	-	-	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境				4.1	0.25	4.2	1.00	4.1	
4.1 発生源対策				5.0	0.50	5.0	0.63		
1 化学汚染物質		F4、ホルムアルデヒド以外のVOCについて放散量の少ない建材採用		5.0	1.00	5.0	1.00		
2 アスベスト対策				-	-	-	-		
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-		
4 レジオネラ対策				-	-	-	-		
4.2 換気				2.0	0.30	3.0	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		0.31(1/10以上)		-	-	5.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	1.0	0.33		
4 給気計画				-	-	-	-		
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-		
2 喫煙の制御		建物全体が禁煙		5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.7	
1 機能性				2.2	0.40	4.0	1.00	2.3	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.60	5.0	0.60		
1 広さ・収納性		居室(1床室)11.8㎡		-	-	5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	3.0	-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.40	2.5	0.40		
1 広さ感・景観		天井高:(1床室)2.5m		-	-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				3.0	-	3.0	-		
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	-	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.2	0.31	-	-	3.2	
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-		
1 耐震性				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.7	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		タイル(40年)		5.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水・給湯・排水管用B以上使用		5.0	0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-		

2.3 適切な更新				-	-	-	-
2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-	
1	空調・換気設備	自家発電設備設置	3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			2.7	0.29	2.6	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり			2.8	0.31	2.2	0.50	
1	階高のゆとり		2.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	(共用部分)壁長さ比率0.15(住居部分)壁長さ比率0.29	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.3	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		2.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		1.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物の熱負荷抑制		-	3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=10	4.0	0.30	-	-	4.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.63	-	-	3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	陶磁器タイル、再生骨材の路盤材利用	4.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	GL工法を採用	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤を使用していない	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		LOCO2排出率が参照値に対して92%	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.3	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制	身障者用駐車スペースの確保	4.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」を一部満たしている	4.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

熊本市重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 山口病院新館棟増築工事

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v3.2)_kmt2010(v1.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-熊本《新築》2010年版

★熊本市重点評価結果				総合評価点		76.1
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				83.8	0.40	33.52
Q1-2.1.3	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.2	昼光制御	4.1	0.05			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	3.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				63.7	0.20	12.74
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				67.5	0.20	13.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	3.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				81.6	0.20	16.32
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.7	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	2.7	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	4.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数